

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)



2017年10月4日

28年連続でグッドデザイン賞を受賞

- ミサワホームの木質パネル接着工法を用いた新構法「センチュリーモノコック」が受賞
- 創立50周年記念商品として4月に発売した工業化住宅「CENTURY Primore」が受賞
- 6点が受賞、累計受賞数は住宅業界ナンバーワンの146点に

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、2017年度グッドデザイン賞（主催 公益財団法人日本デザイン振興会）において、工業化住宅「CENTURY Primore」や新構法「センチュリーモノコック」など計6点を受賞しました。これにより、1990年の初受賞以降、住宅業界唯一の28年連続受賞となり、住宅商品53点をはじめ、住宅関連部品や個人邸など累計146点の受賞数は住宅業界でナンバーワンの実績です。

ミサワホームは創立当初から、住まい手の家族構成や趣向が変わっても豊かに暮らし続けられる住まいを目指し、高いデザイン性と機能性を両立させた「シンプル・イズ・ベスト」というデザインポリシーのもと、商品やサービスの開発に取り組んできました。

今回のグッドデザイン賞では、ミサワホーム独自の木質パネル接着工法を用いて、高い耐震性能と業界最高水準の断熱性能を実現する新構法「センチュリーモノコック」や、同構法の採用により、大開口・大空間を確保し、豊かな住まい環境を実現しながらも、ZEH基準を容易にクリアする工業化住宅「CENTURY Primore」が受賞しました。そのほか、都市部の中層住宅市場に向けた重量鉄骨造商品「URBANCENTURY」（^{アーバンセンチュリー}錦糸町モデル）や、水の蒸散冷却効果を利用して涼感を生み出すエクステリアアイテム「ドリップルーバー」、宅配便の再配達問題の解消に貢献する宅配ボックス内蔵の玄関ドア「コンサイニードア」、銘木集成材を採用したプレカット階段連続手摺「木製システム手摺 ウィズモア」が受賞しました。

ミサワホームはグッドデザイン賞の受賞実績にも裏付けられた「デザインのミサワホーム」をこれからも積極的に訴求するとともに、今後も「『住まいを通じて生涯のおつきあい』という精神のもと、良質の『住まい』を提供し、豊かな社会づくりに貢献します」というコーポレートスローガンに基づき事業を推進していく考えです。

■2017年度グッドデザイン賞受賞内容

・木質住宅構法「センチュリーモノコック」

ミサワホームの独自の工法である「木質パネル接着工法」を用いた新構法です。木質パネルの厚みを変更し、木質パネル同士の接合部や構造体と基礎の接合部を強化した高耐力仕様を標準採用することで構造強度を高めました。また、高耐力のLVL材の梁を組み合わせることで、構造上の余力を十分に確保したまま、約5.4m幅の大開口や約3mの高天井といった大空間設計が可能です。「センチュリーモノコック」を採用した住まいは、パネルを厚くしたことで断熱性能に優れ、従来の木質パネル接着工法の建物に比べて、1.5倍の開口を設けた場合でもZEH基準を満たすことが出来ます。

受賞にあたっては、大空間を持つ家に住みたいという、ごく自然な願望を叶えながらも、高い耐震性・断熱性を有し、安全・安心を実現した点や、将来起こりうる住宅の間取りの変更にも対応しやすく大きな可能性を秘めている構法だと評価されました。

「構法」そのものがグッドデザイン賞を受賞したことは、今後の商品開発にとって大変意義深く、住まいの更なる価値向上につながると考えます。

※Webサイト：https://www.misawa.co.jp/century_monocoque/



構造体外観



構造体内観

・工業化住宅「CENTURY Primore」

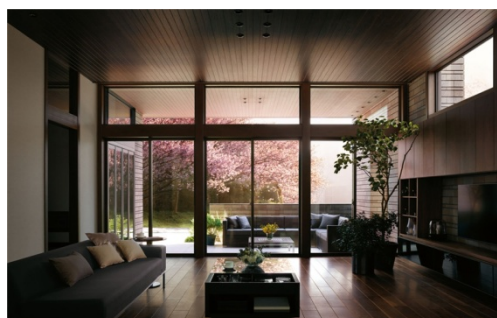
ミサワホームの創立50周年を記念して開発した木質系戸建住宅の最上位ブランド「CENTURY」の新商品。新構法「センチュリーモノコック」の採用により、大開口・大空間を確保し、ゆとりある住まい環境を実現しながらも、ZEH基準を容易にクリアします。また、ミサワホームの大収納空間「蔵」を採用した2階建て・4層スキップ設計の広がりある空間構成も特徴です。約3mの高天井と深い軒、室内と室外双方に使用可能な建材の開発・採用により室内外に一体感を感じさせるリビングや、近隣との交流を促すアウトドアリビングと土間空間「リンクハブ」、洗面脱衣スペースにゆとりを持たせファミリールーム化することで家族の時間を醸成する「ウォーターリビング」など、様々な工夫を盛り込んでいます。

受賞にあたっては、アウトドアリビングが室内のリビングと連続している点や、ウォーターリビング、高天井で開放的な空間、ゲスト用と家族用に分かれたダイニングなど上質でゆとりとした作り、すっきりとしながら落ち着いた感のある外観などが評価されました。

※Webサイト：http://www.misawa.co.jp/kodate/syuhin/century_primore/



水平ラインを強調した外観



約5.4m幅の大開口と
約3mの高天井のリビング

・工業化住宅「URBANCENTURY」（錦糸町モデル）

都市部の中層住宅市場に向けた耐火建築物の重量鉄骨造商品で、今回受賞した錦糸町モデルは、店舗と賃貸住戸を併設した多世帯同居型の住まいです。

地域との共生を目指し、1階の店舗が新たなコミュニティ形成の場となるように設計しています。重量鉄骨造ならではの開口や大きな軒下空間により、内と外の境界を曖昧にし、都市の一部を形成する地域に開かれた空間を提供しました。

また、居住エリアには大勢が集える大きなテーブルのある小上がりスペース、家族の学び空間「ホームcommons」などを取り入れ、世代間の繋がりを感じられるようにしています。

さらに、家族構成の将来的な変化を見通し、居住エリアを賃貸住宅やオフィス、店舗へ転用可能なプランとすることで、将来にわたって資産価値を維持することができます。

受賞にあたっては、1階を街に開いた店舗とし、都市における住宅のあり方として、コミュニティの形成まで配慮出来ている点を評価いただきました。また、店舗だけでなく、賃貸住宅や二世帯三世代の住まいと多岐にわたる内容でありながら、バルコニーやルーバーの効果的な設置により、プライバシーを確保しながら、緩やかに都市とのつながり設けている点や、すっきりとした外観デザインについても評価いただきました。

※Web サイト：<https://www.misawa.co.jp/kodate/syuhin/urbancentury/>



店舗イメージ



大勢の人が集えるダイニングと小上がり

・ルーバーパネル「ドリップルーバー」

アルミ素材のルーバー表面に水を流し、無数にあいた小さな孔に水の膜を形成します。その蒸散冷却効果によってルーバーパネルそのものの温度を下げ、涼感をもたらすエクステリアアイテムです。水が孔から滴下（ドリップ）する様子は視覚的な涼感も演出します。アルミ素材のため、耐久性も高くメンテナンスも容易です。

受賞にあたっては、電力を使わない冷却装置であるため地球温暖化対策に効果が期待できる点、水の冷却効果を最大限に引き出す開孔設計、デザイン性に優れたシンプルな構造を評価いただきました。

※株式会社ミサワホーム総合研究所との共同受賞

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2017/0516/



設置イメージ



水が滴下する様子

・玄関ドア「コンサイニードア」

宅配ボックス及び郵便受けを内蔵した玄関ドア。大型郵便物の受け取りが可能な郵便受けと最大2個の宅配ボックスを扉本体に内蔵する玄関ドアと、玄関ドアの横の袖ガラス部分に宅配ボックスを組み込むタイプの2種類を用意しました。どちらも郵便物や宅配物を室内側から取り出すことが可能です。住宅を構成する一要素として周辺部材との親和性に配慮し、機能性とともなシンプルデザインを実現しました。

受賞にあたっては、社会問題となっている再配達問題の一助となる着想と、受け取り手も時間の制約を受けない宅配ボックスを組み込んだ玄関ドアはこれからの可能性を示唆した製品であると評価いただきました。

※ニュースリリース：https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2017/0915/



扉内蔵タイプ



扉内蔵タイプの
荷受け部分



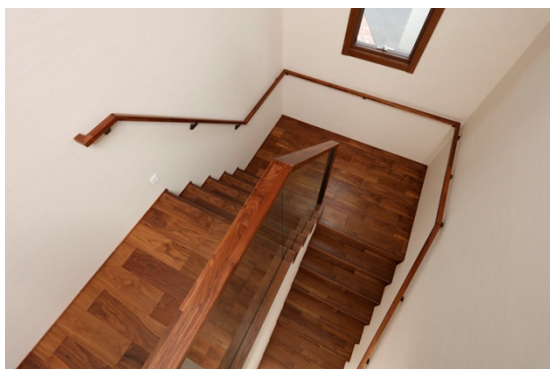
袖ガラス組み込みタイプ

・木製手摺「木製システム手摺 ウィズモア」

住宅内部階段用のシステム手摺。豊かな質感と意匠が特長の銘木集成材を採用。手で触れて使用する住宅部品のため、握りやすさは勿論、冷たさや硬さを感じにくい仕上げとしました。完全プレカットとすることで品質が安定し、パーツ結合部は凹凸が少なく滑らかに連続させたことで、手摺の基本性能と意匠性、階段室全体の安全性を高めました。

受賞にあたっては、昇降に必要な基本性能である安全性に配慮した設計である点や、施工者の技量に左右されず、安全な設置が可能な施工性の良い完全プレカット製品である点が評価されました。

※朝日ウッドテック株式会社との共同受賞



設置事例



突起のない連結部分

■グッドデザイン受賞展「グッドデザインエキシビション 2017」

会 期：2017年11月1日（水）～5日（日）

開催時間：11：00～20：00

※最終日は11：00～18：00

会 場：東京ミッドタウン内各所（東京都港区赤坂 9-7-1）

■ミサワホームのデザイン（特設サイト）

U R L：<https://www.misawa.co.jp/design/>

以 上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株)経営企画部コーポレートコミュニケーション課

中田義規 佐野遥香

TEL 03-3349-8088／FAX 03-5381-7838

E-mail：Haruka_Sano@home.misawa.co.jp